

# MASUDAYA

## Japanese Charcoal & Hibachi Culture

1946 – PRESENT

# 1946



# TRADITION

## 戦後から続く炭の専門商社

株式会社増田屋。1946年創業、東京・大田区。70年以上にわたり日本の「火」を支える実在の老舗企業。

Authenticity / Tradition / Craft Knowledge

# SCOPE

## 事業内容

→ 業務用燃料炭

→ 家庭用炭

→ 茶道用炭

→ 炭関連道具

→ 薪・固形燃料

# HISTORY

## 日本の火鉢文化



### 奈良・平安

起源。『枕草子』にも登場する歴史的背景。



### 鎌倉中期

庶民生活への普及。



### 昭和20年頃

家庭の中心としての存在（茶の間）。

# FUNCTION

## 三つの機能

|  |                                |  |
|--|--------------------------------|--|
|  | 暖房 (Heating) - 部屋を暖める熱源。       |  |
|  | 食卓 (Dining) - 湯を沸かし、食事をする台。    |  |
|  | 収納 (Storage) - 引き出しによる生活道具の保管。 |  |

火鉢は単なる暖房器具ではない。生活のシステムそのものである。

# ARTIFACT

## 工芸品としての火鉢

関東長火鉢・関西長火鉢

黒柿・紫檀・欒

手あぶり

完全修復 - 化学塗料不使用、  
天然WAX仕上げ。

Functional Art.

# MATERIAL

## 炭の種類



**備長炭（白炭） - 硬質、長時間燃焼、高火力。**



**くぬぎ炭（黒炭） - 茶道用、美しい断面（菊炭）。**



**ナラ炭 / オガ炭 - 実用性と経済性を兼ね備えた業務用。**

# PURITY

専門性と品質

## 茶道炭

湯を沸かすための  
作法と美学。



## 浄水用炭

選別された品質。  
粉が出にくく、  
水を浄化する。



炭は燃料を超えた「文化の一部」である。

# RITUAL

火の世話

炭を足す  
灰をならす  
鉄瓶をかける

Fire is ritual.  
Fire is presence.

# CONTRAST

スクリーン、  
通知、騒音、  
速すぎ社会。

# TRADITION

燃える火、  
灰に描く線、  
湯が沸く音。

# ESSENCE

再解釈

**Electric heat warms the body.**

**(電気の熱は体を暖める。)**

**Charcoal fire warms the soul.**

**(炭の火は魂を暖める。)**

# TIME

## 時間の再定義

火鉢は暖房器具ではない。それは「時間を味わう装置」である。

---

火を見つめる時間。湯が沸くのを待つ時間。

# MISSION

## 増田屋の使命

私たちは単に炭を売る  
会社ではない。  
日本の「火の文化」を守り、  
次世代へ伝える。

**Authentic / Sustainable /  
Cultural Heritage**

# SENSORY

## 映像・音響構成案

鉄瓶の湯気

炭のアップ

古い木目と灰

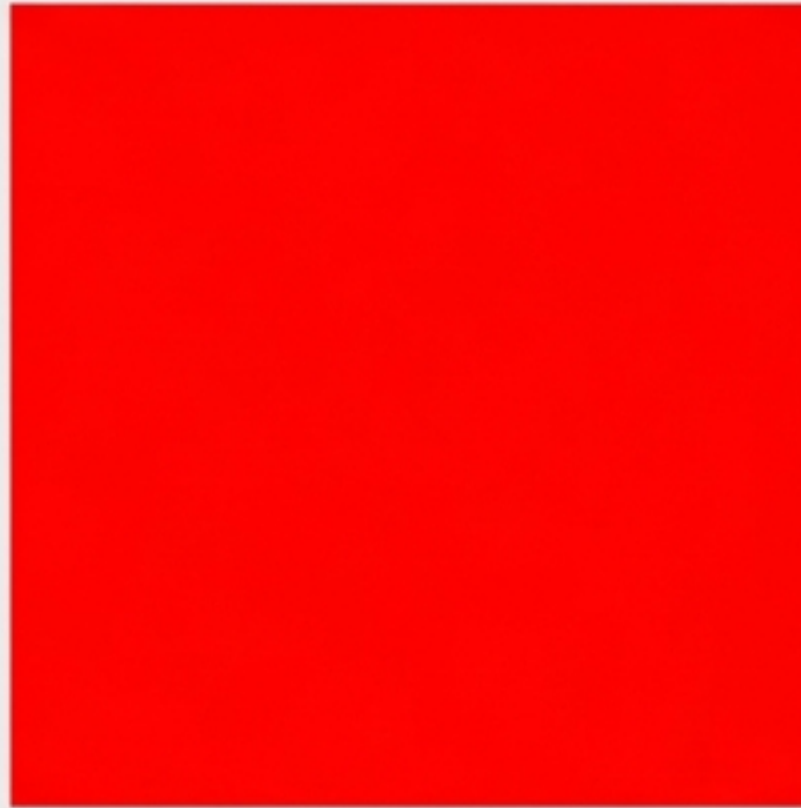
炭がはぜる音

鉄瓶の湯音

静寂 (Silence)

# **MASUDAYA**

**Japanese Charcoal & Hibachi Culture**



**[www.masudaya.co.jp](http://www.masudaya.co.jp)**